

平成23年度 第2回人材育成・勤務評定委員会 会議録

日時：平成23年12月5日（月）15：00～15：40

場所：法勝寺庁舎大会議室

参加：副町長、総務課長、企画政策課長、産業課長、町職労委員長、町職労書記長、行革専門員、書記

発言者	内容
副町長	前回、コーチングの不徹底についての話をし、23年度は全員で徹底することを確認した。その結果での話しになるのでよろしくお願ひしたい。今年プロジェクトボーナスとして、災害派遣に行ってもらった職員に加点した。評定に結び付けるような検討をお願いしたい。
行革専門員	・10月期におけるコーチング実施状況説明。 ⇒ 5人コーチングを受けていない連絡が入っている。 アンケート回収結果については、課長級5人、室長級13人、一般23人であり、77パーセントがコーチングについて「良い」と回答している。 評点4が16人に増えた。（プロジェクト加算が要因）、逆に評定2、1の者は減った。評価的にはプラス傾向である。
町職労委員長	プロジェクトボーナスについて、派遣された職員12名は一律の加算となっているか。
行革専門員	一律である。
総務課長	上乘せをしている。ルールから外れたと言えそうかもしれないが。
行革専門員	一律2点加算している。
町職労委員長	評価が上がるのは良いことである。
総務課長	評点2が1名。これは現場からの数字である。
行革専門員	降格については、該当者無しである。
企画政策課長	プロジェクトボーナスは良いが、研修・自己研鑽について反映は未定とのことだが、早目に加味する方向が良い。
行革専門員	研修の体系図を示し、逐次募集もかける。3年間くらいをかけて事務職員全員が中央研修を受講するようにしたい。情報提供もリアルタイムで行っている。充実を図り、加点の項目になるか検討する。
副町長	自分から手を挙げる職員数は。
行革専門員	現時点で2名。
副町長	誰もお互いなので、仕事を思わずに研修に参加できる雰囲気を作ってやらないといけない。内容ばかりではなく、良い経験になる。
総務課長	取り組み姿勢は当たり前のこと。参加、成果にウェートを置かないといけない。民間のウェートを確認した方が良いかもしれない。

企画政策課長	評定結果は、課長から本人に告知とのことだが、総務課長から結果の紙をもらえるのか。
産業課長	結果を告知するのはコーチングと同じ時が良いかもしれないということだが、室長がコーチングする場合はどうするか。
企画政策課長	コーチングと評定の時期（タイミング）は今のやり方が良いと思う。コーチングと評価は違うので、聞き役になるという認識でいる。
企画政策課長	返し方はどうするか。
行革専門員	本人が納得されればそれで良い。お渡しすれば良い。
副町長	業務成果が繋がると評価しやすいが。
総務課長	仕事の仕方、一緒のことをしてはいけない。
企画政策課長	絶対評価か。
総務課長	絶対評価である。

以上、15：40終了